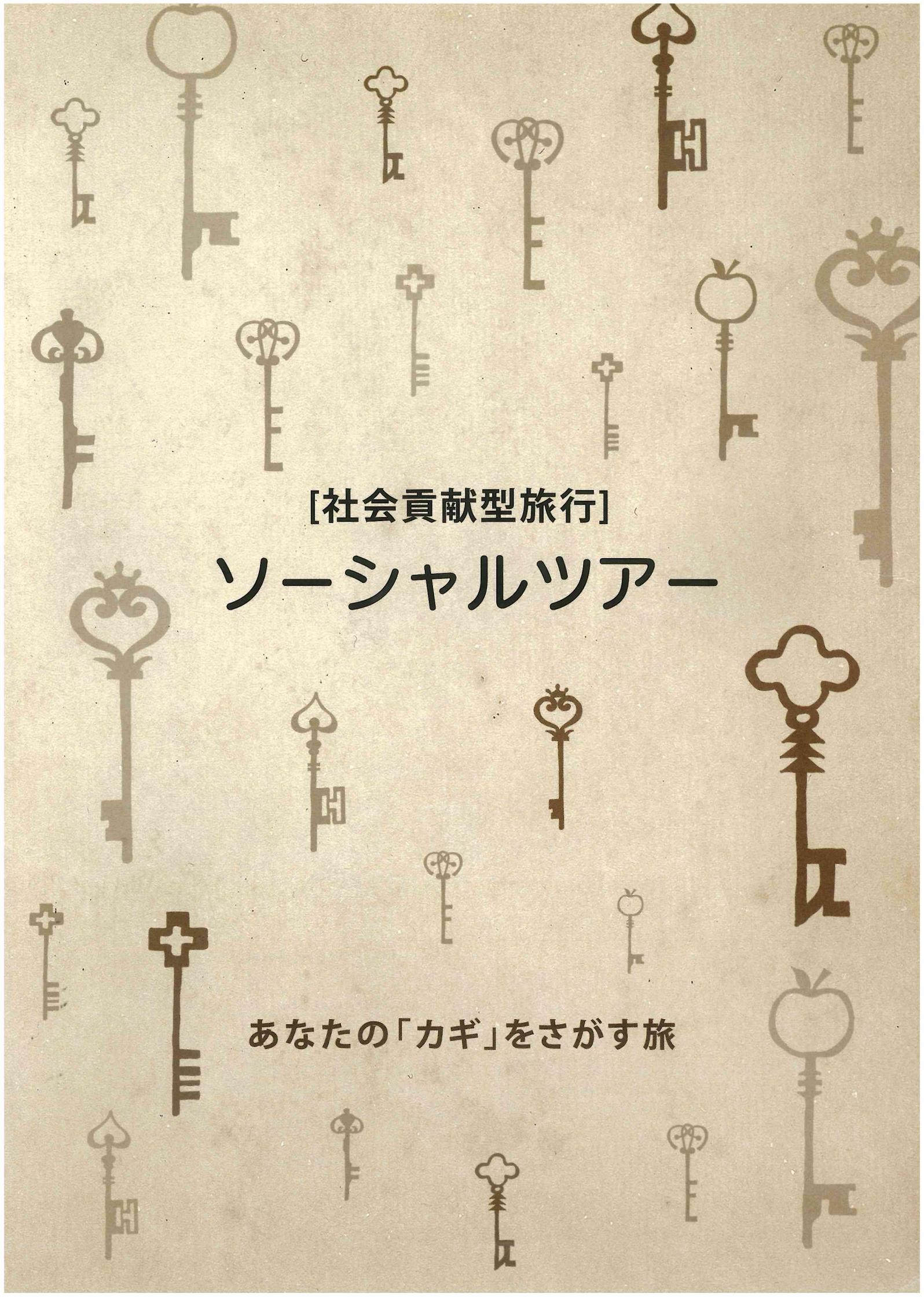


市区町村名	愛媛県 伊方町	担当部署	産業建設課 観光商工室
		電話番号	(0894) 38-0211

<b>1 取組事例名</b>	
・ソーシャルツアーの取組	
<b>2 取組期間</b>	
・平成 26 年度～（継続中）	
<b>3 取組概要</b>	
・観光振興として掲げている「佐田岬観光まちづくり実施計画（通称：佐田岬しあわせプロジェクト）」の一環として実施している。観光型など従来の旅行方式ではなく「地域住民と参加者の課題を協働で解決するプログラム」を軸に旅行商品化し展開している。	
<b>4 背景・目的</b>	
・景観、食材、伝統文化など地域素材に溢れる当地域であるが、旅行者獲得競争の激化により新たな取り組みは常にを要している。また、前述の地域の魅力は個々には素晴らしいがリピート率は必ずしも高くない側面もあった為、「交流人口の増加及び深化」を目的に取り組みを始めている。	
<b>5 取組の具体的内容</b>	
※下記のとおり	
<b>6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行者、受入側双方の課題解決や目的達成を主旨としている点。</li> <li>・ボランティア活動的とならないように相互調整及び「旅行商品化」を図る点。</li> </ul>	
<b>7 取組の効果・費用</b>	
<p>※取組はをはじめて間もない為（同時進行中の体制固めもある為）効果については未確定であるが、見込まれる効果として下記の点が挙げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化等により、集落で解決が困難な課題の解決方法のひとつとして活用。</li> <li>・観光振興（誘客促進）の新しいかたちとして内外に発信。</li> <li>・参加者が深く佐田岬に関わることによるリピート率の向上</li> <li>・手広く作成している観光 PR 関連予算の効率化。（地域イメージの創造・確立）</li> </ul>	
<b>8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦勞した点）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決すべき地域課題の把握整理作業の際、主旨説明が不足すると単なる「行政への要望リスト」となる可能性がある。</li> <li>・受注型旅行商品となる為、相当量の営業活動が必要となる。</li> <li>・中間支援組織の能力を向上維持すね必要がある。</li> </ul>	
<b>9 今後の予定・構想</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊方町（佐田岬）ならではの旅行形態として確立し地域イメージ向上につなげる。</li> <li>・参加者（団体）個々の定例行事化を求めていく。（交流の深化、リピート率向上）</li> <li>・町内参加者（受入プログラム）の増加・多様化を図る。（先行事例を手本とし町内浸透を増強）</li> </ul>	
<b>10 他団体へのアドバイス</b>	
※上記 8 記述について調整しながら推進を要する。	

The background of the entire page is a repeating pattern of various keys in a light brown color. The keys have different shapes, including round heads, cross heads, and ornate, decorative heads. They are scattered across the page, creating a textured, vintage feel.

[社会貢献型旅行]

# ソーシャルツアー

あなたの「カギ」をさがす旅

乗り越える 身につける  
 境界をこえる 気づく 考える めげない  
 感じる 解決する やりとげる  
 理解する 助けあう  
 理解する 助け合う 考える 課題を見つける  
 生きる力 気づく 話し合う 自分なりの幸せ  
 力をあわせる 未来をつくる 発見する  
 発見する 解決する 挑戦する 成長する 交流する  
**乗り越える** 助け合  
 身につける 希望を持つ  
 助け合うくじけな  
 やりとげる  
 理解する

佐田岬には、しあわせに  
 生きていくための“カギ”が  
 たくさん隠されています。  
 日常から離れた辺境の地で、  
 探しているものを見つける  
 旅をしましょう！



人口減少、高齢化、雇用問題、都市部への人口集中と地域の過疎化など、  
 日本には新しい時代を迎えるにあたっての課題が山積みです。ソーシャル  
 ツアーは、次の世代を担う人たちに、これからの困難な時代を“生きていく  
 ための力”を身につけてもらう新しい旅のかたちです。自分・家族・仲間・仕事・  
 家庭・社会など、自分の根っこをしっかりと考え、自分なりの“しあわせのカギ”  
 を見つけていただく機会を参加者の皆さんと一緒につくっていきます。



ソーシャルツアー  
 [社会貢献型旅行]

# 佐田岬で広がるソーシャルツアー

## ソーシャルツアーの考え方

ソーシャルツアーは、地域住民と参加者の課題を、協働で解決するプログラムです。

### 参加者

#### ソーシャルツアーに希望される効果

- ・生きていく力を身につけさせたい。
- ・人を思いやる気持ちを育ませたい。
- ・働くことの意味を理解させたい。
- ・家族の大切さやありがたさを感じさせたい。
- ・チームワークの意味を理解させたい。
- ・みんなで課題を見つけ、解決する経験をさせたい。

### 中間支援組織

#### 参加者

ソーシャルツアーに希望される効果を参加者のみなさんが、しっかりと持ち帰れるように、地域の“人・自然・施設”などを最適な形に組み合わせ提供します。

#### 地域住民

地域の皆さんとしっかりと話し合っ受入れプログラムをつくります。地域全体で受入体制をつくります。地域の課題を体験フィールドとして提供します。

### 地域住民

#### 地域の課題

- ・人口が少なくなっ地域が生活環境が維持できない。
- ・地域外の人たちと出会う機会がない。
- ・仕事が減って若い人がいなくなった。
- ・農業をやめる人が増えて環境が荒れてきた。

# 事例報告

## 第1回 佐田岬 ソーシャルツアー 愛媛大学サッカー部 チーム強化合宿

期間 2015年3月6日～9日

場所 伊方町三崎地区  
(四国最西端の集落)

参加者 50名(指導者含む)

### 受入れ側

#### 主担当

伊方町  
佐田岬ツーリズム協会  
(旅行代理業)

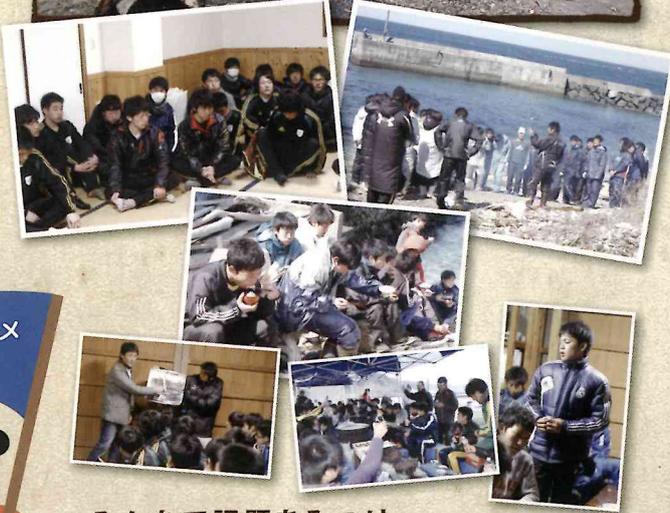
#### 協力

民宿大岩  
三崎漁業協同組合  
地域住民



目標は四国の大学リーグで  
一位になること。

この合宿にはチーム強化  
のために来ました!



みんなで課題をみつけ、  
解決策を考え、力をあわせて行動した。  
途中であきらめず、最後までやりきった。

### ツアー日程

#### 1日目

亀ヶ池温泉で入浴と食事  
民宿大岩到着  
全体ミーティング

#### 2日目

朝食(自炊)  
全体ミーティング  
地域貢献活動  
昼食(自炊)  
作業チームごとのミーティング  
地域貢献活動  
夕食(自炊)  
全体ミーティング

#### 3日目

朝食(自炊)  
全体ミーティング  
地域貢献活動  
昼食(自炊)  
作業チームごとのミーティング  
地域貢献活動  
地域住民交流会(自炊)  
地域住民と意見交換会

#### 4日目

朝食(自炊、昼食のお弁当も準備)  
地域貢献活動  
地域清掃  
全体ミーティング

### 参加者にお聞きしました!



チームビルディングに活用させてもらいたい、と思って申し込みました。それと同時に地域貢献に繋がれる、ということも理由のひとつです。当日は、普段よりも学年間の壁を越えて、話しあい、協力していたようです。今後何か課題が生まれた時に、このツアーのことを振り返れば、自分たちで解決できるのではないかと思います。四国一に向けて、前進しました!

監督 山中亮さん



作業は具体的な行動の指示がなかったのですが、自分たちで考え、行動をすることで、チームの結束力が発揮されたと思います。ゴミの多さには参りました(笑)。それも課題のひとつとして、運搬方法なども話し合っ解決できたと思います。それと交流会で地元の人たちと話をさせてもらって、我々の作業が地域に役立っていることを聞いてやりがいを感じました!

副主将 2回生 長井僚太さん



今回の目的はトレーニングの一貫ということで、自分たちはあまり口出しをせず、学生の自主性に任せただけ、みなさん積極的を考えて作業してもらったと思う。地域のみなさんからは、周辺が綺麗になったと喜んでもらえたし、是非また来てもらいたいですね。サッカー部のみなさんが次回来たら、地元の子もたちにサッカーも教えてほしい(笑)

山中亮さん



いつもと違う環境で、チーム全員が協力して地域課題を解決していくなかで、たくさんの気づきがありました。チームや自分のことを見つめ直す良い機会となりました。今後は選手一人ひとりが常にチームのことを考え、積極的に行動できるようにしたいと思います!

2回生 中野佑飛さん



今まで以上に、選手と話しやすくなったと思います。自らアクションを起こすことの大切さ、受け身にならないことが四国で一番になるためには大事だということに再認識しました。今回のツアーで選手の今まで見えなかった深い部分が垣間見れました。地域の人たちにも喜んでもらって、達成感・やりきった感を味わうこともできました!

マネージャー 山本櫻子さん



佐田岬の良さを感じてもらって、この地域をPRしてもらえたらと思っています。交流会で学生達とも仲良くなれたのでまた来てほしいですね。夢のある取り組みなので学生の希望をかなえられるように地域としても積極的に協力していきます。

加藤智明さん

ソーシャルツアーの受付窓口

NPO法人 佐田岬ツーリズム協会

Tel: 0894-54-2225 Fax: 0894-54-2221

〒796-0801 愛媛県西宇和郡伊方町三崎1700番地11

<http://www.sadamisaki.com>

伊方町役場 商工振興室 Tel: 0894-38-0211  
〒796-0301 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1993番地1



佐田岬  
しあわせプロジェクト